

<div>土壌汚染調査特記仕様書</div> <div>A. 調査概要</div> <table><tr><td>調査名称</td><td colspan="4">弘前大学(本町)臨床研究棟土壌汚染調査業務</td></tr><tr><td>調査場所</td><td colspan="4">青森県弘前市本町53(弘前大学本町団地構内)</td></tr><tr><td>調査期限</td><td colspan="4">令和8年3月31日(火曜日)</td></tr><tr><td rowspan="3">調査内容</td><td>調査内容</td><td>調査位置</td><td>試料採取等区画</td><td>試料採取数</td></tr><tr><td>土壌ガス</td><td>表層土壌</td><td>全部対象区域</td><td>30地点</td></tr><tr><td>土壌溶出量 土壌含有量</td><td>表層土壌 配管深度</td><td>全部対象区域 全部対象区域</td><td>30地点 34地点</td></tr></table> <div>B. 一般特記事項</div> <table><tr><td>総則</td><td><div>1. この調査の受注者は、国立大学法人弘前大学設計・監理等業務委託契約事務取扱細則(細則第28号)の第6条に規定する測量調査等請負契約要項(平成15年7月22日付け 15文科施第164号 文教施設部長通知)、特記仕様書2枚のほか、関係法令、参考文献に基づき調査を実施する。</div><div>関係法令</div><ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法 平成14年法律第53号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年政令第336号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年環境省令第29号</li></ul><div>参考文献</div><ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法ガイドライン第1編</li><li>・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン(改訂第3.1版)</li><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul></td></tr><tr><td>その他</td><td><div>(1) 請負代金の支払い</div><p>請負代金は、受注者からの適法な支払請求書に応じて弘前大学財務部財務管理課より2回以内に支払うものとする。</p><div>(2) 測量調査等請負契約要項の運用について</div><p>要項第4条の規定により、業務工程表を提出する。</p><div>(3) 貸与資料について</div><p>本調査の参考資料として、次の報告書を貸与する。なお、貸与資料は調査完了後すみやかに返却すること。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul><div>(4) 工事用電力</div><ul style="list-style-type: none"><li>○ 発電機等による。</li></ul><div>(5) 工事用給水</div><ul style="list-style-type: none"><li>○ 給水ポリタンク等による。</li></ul><div>(6) その他</div><ul style="list-style-type: none"><li>○ 調査孔は、常温アスファルト混合物で閉塞する。</li><li>○ 調査完了に際しては、後片付け及び清掃する。</li><li>○ 既存図の確認、手堀及び探査機器による調査等により埋設配管等の位置を確認し、損傷しないように配慮する。</li><li>○ 本調査結果について行政との打合せを行う。</li><li>○ 届出に必要とする調査結果関係資料を作成する。</li><li>○ 本学が法令に伴う届出を行う際に同席する。</li></ul></td></tr></table> <div>C. 特記事項</div> <div>1章 一般共通事項</div> <table><tr><td>調査内容</td><td><div>1. 試料採取</div><div>(1) 土壌ガス</div><p>地表面から深さ1.0mまで削孔し、孔内の土壌ガスを採取する。</p><div>(2) 土壌</div><p>現地盤面の試料は地表面のアスファルト等を除く土壌表面から5cm及び深さ5~50cmの土壌を採取する。なお、配管下の試料採取地点では表1に示す深度で土壌を採取すること。</p><div>2. 土壌分析</div><div>(1) 分析資料</div><p>採取後の土壌資料は表層から5cm及び深さ5~50cmの土壌を1:1の割合で均等混合し分析資料とする。</p><p>全部対象区画の試料は、単位区画(10m格子)の資料を分析する。</p><p>一部対象区画の試料は、30m格子の複数単位区画からの試料を均等混合し、その混合試料を分析する。</p><p>なお、配管下の試料は、単位区画(10m格子)の試料を分析する。</p></td></tr></table>		調査名称	弘前大学(本町)臨床研究棟土壌汚染調査業務				調査場所	青森県弘前市本町53(弘前大学本町団地構内)				調査期限	令和8年3月31日(火曜日)				調査内容	調査内容	調査位置	試料採取等区画	試料採取数	土壌ガス	表層土壌	全部対象区域	30地点	土壌溶出量 土壌含有量	表層土壌 配管深度	全部対象区域 全部対象区域	30地点 34地点	総則	<div>1. この調査の受注者は、国立大学法人弘前大学設計・監理等業務委託契約事務取扱細則(細則第28号)の第6条に規定する測量調査等請負契約要項(平成15年7月22日付け 15文科施第164号 文教施設部長通知)、特記仕様書2枚のほか、関係法令、参考文献に基づき調査を実施する。</div> <div>関係法令</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法 平成14年法律第53号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年政令第336号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年環境省令第29号</li></ul> <div>参考文献</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法ガイドライン第1編</li><li>・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン(改訂第3.1版)</li><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul>	その他	<div>(1) 請負代金の支払い</div> <p>請負代金は、受注者からの適法な支払請求書に応じて弘前大学財務部財務管理課より2回以内に支払うものとする。</p> <div>(2) 測量調査等請負契約要項の運用について</div> <p>要項第4条の規定により、業務工程表を提出する。</p> <div>(3) 貸与資料について</div> <p>本調査の参考資料として、次の報告書を貸与する。なお、貸与資料は調査完了後すみやかに返却すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul> <div>(4) 工事用電力</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 発電機等による。</li></ul> <div>(5) 工事用給水</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 給水ポリタンク等による。</li></ul> <div>(6) その他</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 調査孔は、常温アスファルト混合物で閉塞する。</li><li>○ 調査完了に際しては、後片付け及び清掃する。</li><li>○ 既存図の確認、手堀及び探査機器による調査等により埋設配管等の位置を確認し、損傷しないように配慮する。</li><li>○ 本調査結果について行政との打合せを行う。</li><li>○ 届出に必要とする調査結果関係資料を作成する。</li><li>○ 本学が法令に伴う届出を行う際に同席する。</li></ul>	調査内容	<div>1. 試料採取</div> <div>(1) 土壌ガス</div> <p>地表面から深さ1.0mまで削孔し、孔内の土壌ガスを採取する。</p> <div>(2) 土壌</div> <p>現地盤面の試料は地表面のアスファルト等を除く土壌表面から5cm及び深さ5~50cmの土壌を採取する。なお、配管下の試料採取地点では表1に示す深度で土壌を採取すること。</p> <div>2. 土壌分析</div> <div>(1) 分析資料</div> <p>採取後の土壌資料は表層から5cm及び深さ5~50cmの土壌を1:1の割合で均等混合し分析資料とする。</p> <p>全部対象区画の試料は、単位区画(10m格子)の資料を分析する。</p> <p>一部対象区画の試料は、30m格子の複数単位区画からの試料を均等混合し、その混合試料を分析する。</p> <p>なお、配管下の試料は、単位区画(10m格子)の試料を分析する。</p>	<div>2. 土壌分析</div> <div>1) 第一類特定有害物質(土壌ガス調査)</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・四塩化炭素</li><li>・1,2-ジクロロエタン</li><li>・ジクロロメタン</li><li>・ベンゼン</li></ul> <div>2) 第二類特定有害物質(土壌溶出量調査、土壌含有量調査)</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・カドミウム及びその化合物</li><li>・六価クロム化合物</li><li>・シアン化合物</li><li>・水銀及びその化合物</li><li>・鉛及びその化合物</li><li>・ヒ素及びその化合物</li><li>・フッ素及びその化合物</li><li>・ホウ素及びその化合物</li></ul>
調査名称	弘前大学(本町)臨床研究棟土壌汚染調査業務																																			
調査場所	青森県弘前市本町53(弘前大学本町団地構内)																																			
調査期限	令和8年3月31日(火曜日)																																			
調査内容	調査内容	調査位置	試料採取等区画	試料採取数																																
	土壌ガス	表層土壌	全部対象区域	30地点																																
	土壌溶出量 土壌含有量	表層土壌 配管深度	全部対象区域 全部対象区域	30地点 34地点																																
総則	<div>1. この調査の受注者は、国立大学法人弘前大学設計・監理等業務委託契約事務取扱細則(細則第28号)の第6条に規定する測量調査等請負契約要項(平成15年7月22日付け 15文科施第164号 文教施設部長通知)、特記仕様書2枚のほか、関係法令、参考文献に基づき調査を実施する。</div> <div>関係法令</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法 平成14年法律第53号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年政令第336号</li><li>・土壌汚染対策法施行令 平成14年環境省令第29号</li></ul> <div>参考文献</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・土壌汚染対策法ガイドライン第1編</li><li>・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン(改訂第3.1版)</li><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul>																																			
その他	<div>(1) 請負代金の支払い</div> <p>請負代金は、受注者からの適法な支払請求書に応じて弘前大学財務部財務管理課より2回以内に支払うものとする。</p> <div>(2) 測量調査等請負契約要項の運用について</div> <p>要項第4条の規定により、業務工程表を提出する。</p> <div>(3) 貸与資料について</div> <p>本調査の参考資料として、次の報告書を貸与する。なお、貸与資料は調査完了後すみやかに返却すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・弘前大学(本町地区)臨床研究棟汚染地歴調査業務報告書令和7年3月</li></ul> <div>(4) 工事用電力</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 発電機等による。</li></ul> <div>(5) 工事用給水</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 給水ポリタンク等による。</li></ul> <div>(6) その他</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 調査孔は、常温アスファルト混合物で閉塞する。</li><li>○ 調査完了に際しては、後片付け及び清掃する。</li><li>○ 既存図の確認、手堀及び探査機器による調査等により埋設配管等の位置を確認し、損傷しないように配慮する。</li><li>○ 本調査結果について行政との打合せを行う。</li><li>○ 届出に必要とする調査結果関係資料を作成する。</li><li>○ 本学が法令に伴う届出を行う際に同席する。</li></ul>																																			
調査内容	<div>1. 試料採取</div> <div>(1) 土壌ガス</div> <p>地表面から深さ1.0mまで削孔し、孔内の土壌ガスを採取する。</p> <div>(2) 土壌</div> <p>現地盤面の試料は地表面のアスファルト等を除く土壌表面から5cm及び深さ5~50cmの土壌を採取する。なお、配管下の試料採取地点では表1に示す深度で土壌を採取すること。</p> <div>2. 土壌分析</div> <div>(1) 分析資料</div> <p>採取後の土壌資料は表層から5cm及び深さ5~50cmの土壌を1:1の割合で均等混合し分析資料とする。</p> <p>全部対象区画の試料は、単位区画(10m格子)の資料を分析する。</p> <p>一部対象区画の試料は、30m格子の複数単位区画からの試料を均等混合し、その混合試料を分析する。</p> <p>なお、配管下の試料は、単位区画(10m格子)の試料を分析する。</p>																																			

本町団地配置図 S=1/900

工事位置：青森県弘前市本町53(本町団地構内)

【凡例】

業務対象建物

発注図	特記事項	弘前大学施設環境部					業務名	弘前大学(本町)臨床研究棟土壌汚染調査業務	年.月.日	2025.10	仕 1
		次長	課長	課長補佐	係長	担当	図面名称 土壌汚染調査特記仕様書 本町団地配置図	縮尺 1:900			



調査地点一覧

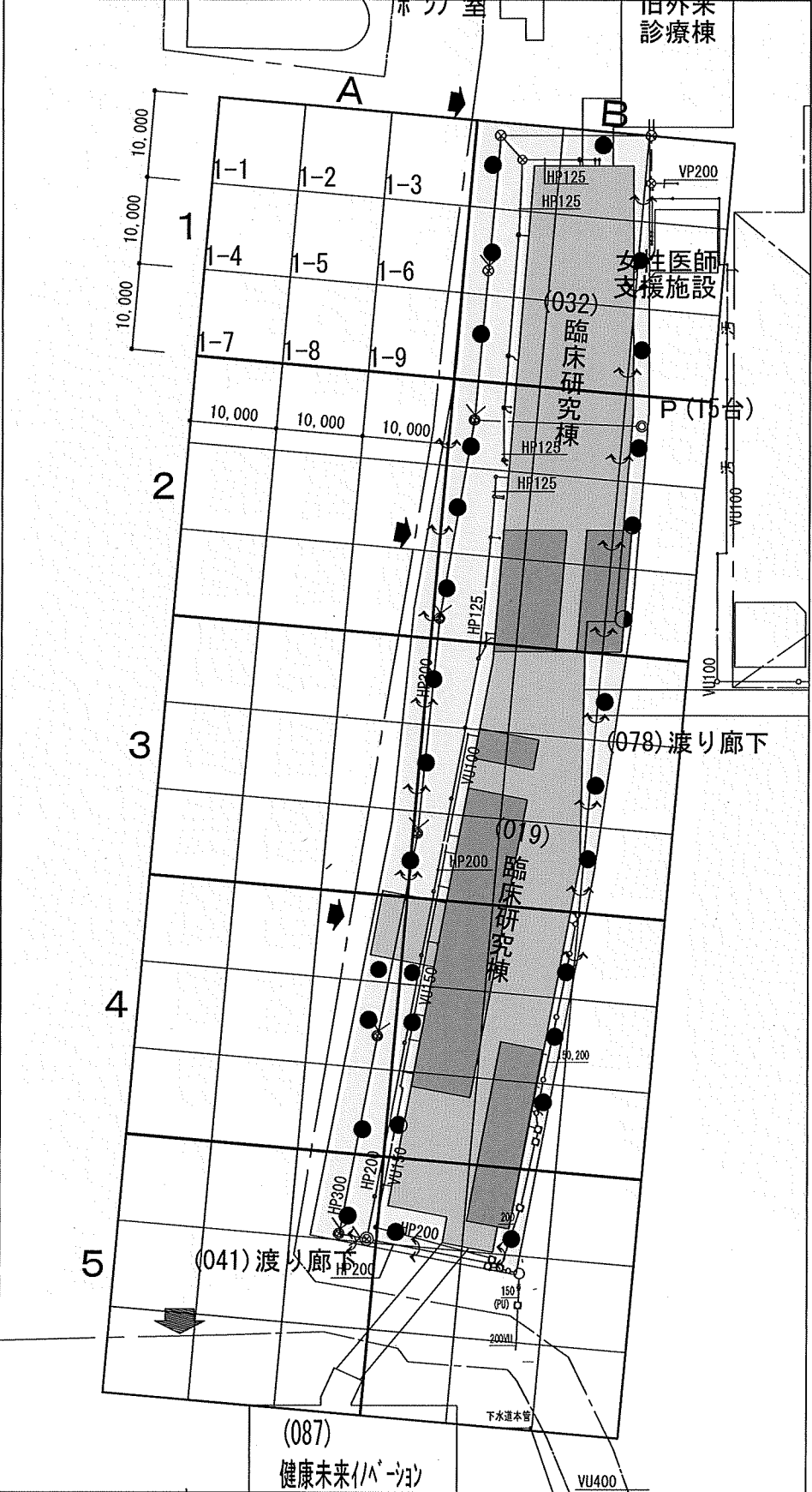
表 1

NO.	調査区画	表層		配管下 (50cm~100cm)		地表面の状況
		調査項目	検体	調査項目	検体	
1	A-4-3	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	アスファルト
2	A-4-6	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	アスファルト
3	A-4-9	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	アスファルト
4	A-5-3	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	アスファルト
5	B-1-1	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	土/コンクリート
6	B-1-2	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
7	B-1-4	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	土/コンクリート
8	B-1-5	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1			コンクリート
9	B-1-7	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
10	B-1-8	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1			コンクリート
11	B-2-1	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
12	B-2-2	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
13	B-2-4	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	コンクリート
14	B-2-5	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
15	B-2-7	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	アスファルト/コンクリート
16	B-2-8	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
17	B-3-1	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	アスファルト/コンクリート
18	B-3-2	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1			土・砂利敷
19	B-3-4	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	アスファルト/コンクリート
20	B-3-5	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
21	B-3-7	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	2	アスファルト/コンクリート
22	B-3-8	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
23	B-4-1	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
24	B-4-2	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
25	B-4-4	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
26	B-4-5	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	土・砂利敷
27	B-4-7	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
28	B-4-8	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
29	B-5-1	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
30	B-5-2	○ (土壌が入, 溶出量, 含有量)	1	○ (溶出量, 含有量)	1	コンクリート
計			30		34	

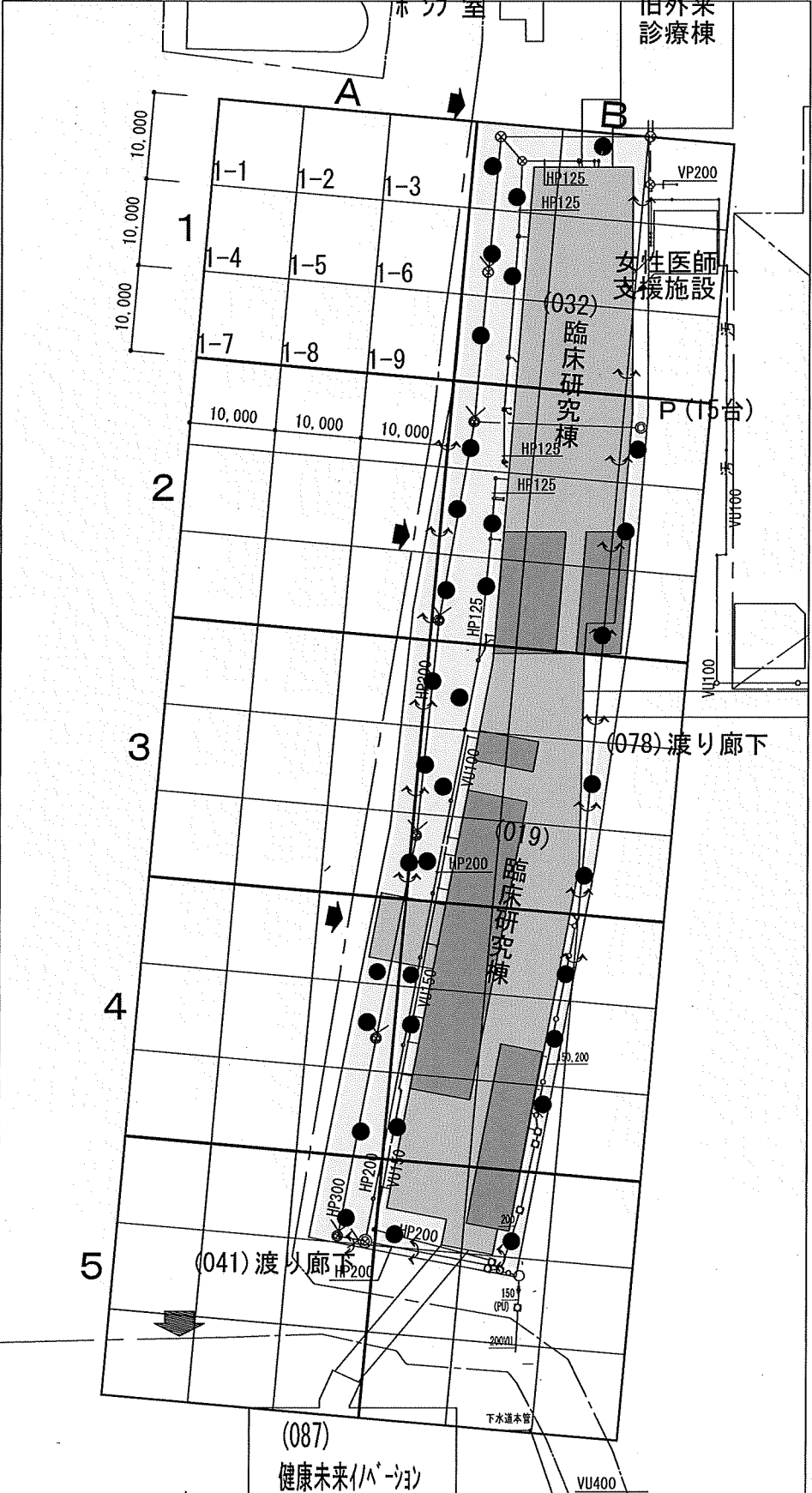
凡 例

	特定施設位置
	土壌汚染が存在するおそれが高いと認められる土地 (全部対象区画)
	臨床研究棟
	試料採取位置
	実験系排水経路
	統合区画

調査地点図 (表層) S=1:750



調査地点図 (配管下深度) S=1:750



発 注 図

弘前大学施設環境部

業 務 名 弘前大学(本町)臨床研究棟土壌汚染調査業務

年 . 月 . 日  
2025. 10

図面番号

仕

図面名称 調査地点図・調査地点一覧

縮 尺  
1 : 750

2